

<アンケートの概要>

- ・期 間 令和4年5月17日(火)～5月27日(金)
- ・対象者 R2、R3年度社会教育主事資格・社会教育士称号を取得した方
- ・依頼先 社会教育主事講習の実施機関 15機関(14大学+1機関) * R2、R3年度実施機関
養成課程実施機関 4機関(抽出)
- ・回答者数 781人

(単位:人)

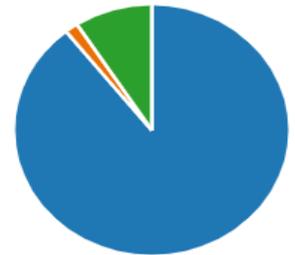
1. 修了年度

令和2年度	178
令和3年度	600



2. 資格取得方法

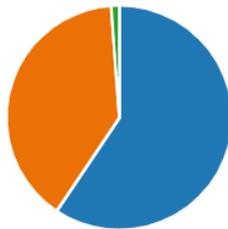
社会教育主事講習(4科目8単位)	696
大学養成課程(6科目24単位)	12
令和元年度以前に大学の養成課程で任用資格を取得し、令和2年度以降に新たに社会教育主事講習を受講	71



3. 性別

男性は59.4%、女性は39.5%である。

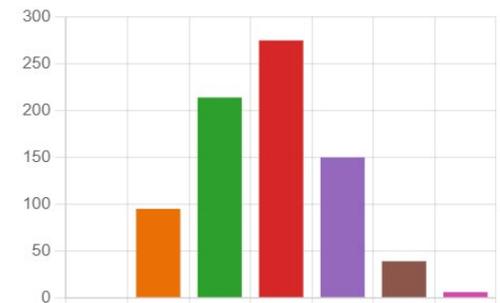
男性	459
女性	305
回答しない	9



4. 年齢

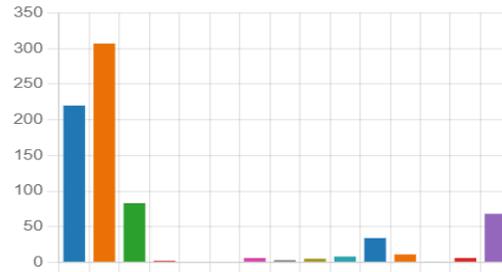
40代が35.3%と最も多く、次いで30代(27.5%)、50代(19.3%)の順に多い。

10代	0
20代	95
30代	214
40代	275
50代	150
60代	39
70代以上	6



5. 職業(受講当時)

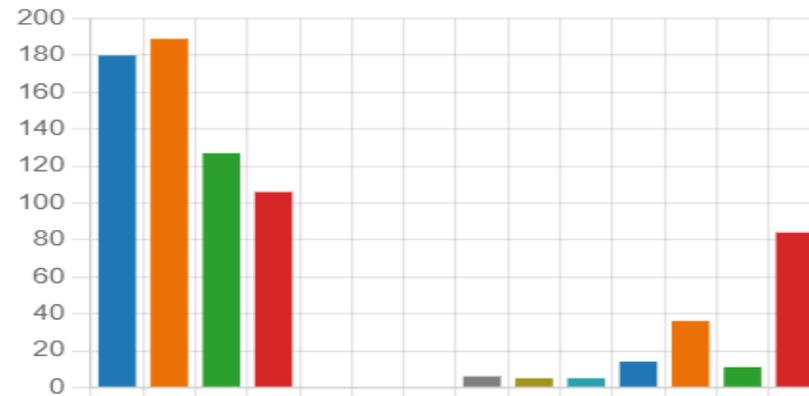
● 教職員	220
● 教育委員会職員	307
● 教育委員会以外の行政職員	83
● NPO法人職員 (福祉関係)	2
● NPO法人職員 (防災関係)	0
● NPO法人職員 (観光関係)	0
● NPO法人職員 (まちづくり関係)	6
● NPO法人職員 (教育関係)	3
● NPO法人職員 (その他)	5
● 独立行政法人職員	8
● 一般企業職員	34
● 学生 (教育学部・研究科)	11
● 学生 (その他)	1
● 無職	6
● その他	68



6. 職業(現在)

● 教職員	180
● 教育委員会の社会教育主事 (発令あり)	189
● 教育委員会職員 (社会教育主事の発令なし)	127
● 教育委員会以外の行政職員	106
● NPO法人職員 (福祉関係)	0
● NPO法人職員 (防災関係)	0
● NPO法人職員 (観光関係)	0
● NPO法人職員 (まちづくり関係)	6
● NPO法人職員 (教育関係)	5
● NPO法人職員 (その他)	5
● 独立行政法人職員	14
● 一般企業職員	36
● 無職	11
● その他	84

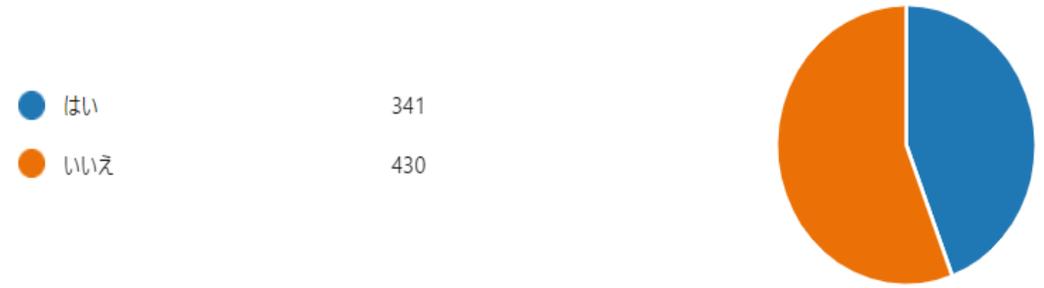
- ・受講者の約1/4にあたる189名の方が社会教育主事に従事している。
- ・また、教育委員会以外の行政職が増えている。



7. 社会教育主事として活動していますか。

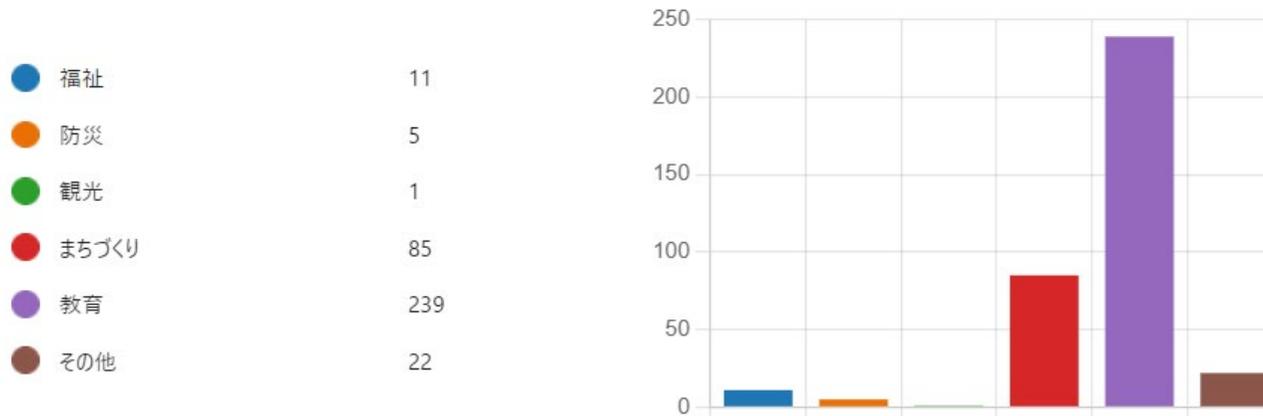


8. 社会教育士の資格を活かした活動をしていますか。



- ・社会教育主事として活動している人の割合は回答者全体の32.6%、
- ・社会教育士の資格を活かした活動をしている人の割合は44.2%である。

9. 8. で「はい」と回答した場合は、どのような分野で活動していますか。



社会教育士の資格を活かした活動をしている人は、「教育」の分野が最も多く、次いで「まちづくり」の分野となっている。

10. 「社会教育士」の称号を取得したことに対するあなたの評価として一番近いものを選択し、その理由も教えてください。

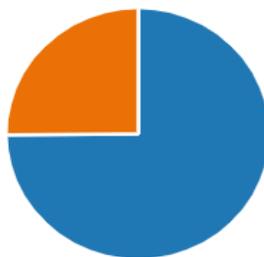
● とてもよかった	276
● よかった	301
● どちらでもない	183
● あまりよくなかった	4
● よくなかった	2



「とてもよかった」「よかった」と回答した人の割合は、回答者全体の75.3%である。

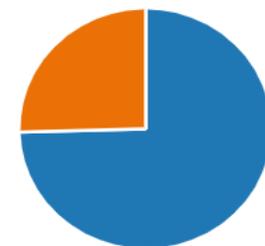
11. 社会教育主事・社会教育士の資格等を取得した後、資格等の保有者とのネットワークがほしいという希望はありますか。

● はい	575
● いいえ	193



12. 社会教育主事・社会教育士の資格等を取得した後、継続学習の機会がほしいという希望はありますか。

● はい	575
● いいえ	196



ネットワークや継続学習の機会がほしいという人の割合は、いずれも約75%となっている。